

# 運慶と三浦一族による造仏

神奈川県立金沢文庫 瀬谷貴之

令和4年7月30日

「運慶 鎌倉幕府と三浦一族」連続講座第2回

於横須賀美術館



「運慶—鎌倉幕府と靈驗伝説—」  
平成30年春



「運慶—中世密教と鎌倉幕府—」  
平成23年春

# 幻の運慶三大代表作

東大寺・大仏殿諸像

東寺・南大門金剛力士像

鎌倉・大倉薬師堂・十二神将像

→いずれも鎌倉幕府ゆかり(支援)

# ※消失作品の考慮無くして 運慶の全像は語れない



「特集 オールアバウト運慶」  
（『芸術新潮』814 平成29年）より

鎌倉・永福寺諸像

建久三年～五年

(1192～94)

→運慶の最大作品群か



国指定史跡永福寺跡

# 永福寺

「奥州征伐」文治五年(1189)関係供養

鎌倉三大寺院の一つ→鶴岡八幡宮寺  
勝長寿院

中尊寺大長寿院(二階大堂)

毛越寺円隆寺

無量光院などをモデル



曹源寺(神奈川県横須賀市)・十二神将像  
→修理銘文「けんきゅうのころのほとけなり」  
→永福寺薬師堂十二神将像の模刻か



# 曹源寺・十二神将像

→永福寺薬師堂十二神将像の模刻

・永福寺薬師堂と曹源寺

→北条政子安産祈願→源実朝誕生

・巳神→源実朝→巳刻誕生・元服

# 鎌倉永福寺造宮後

(建久二年～五年・1191～1194)

## 運慶による

→東大寺大仏殿諸像の造像

建久七年(1194)～

→東寺復興の造像

建久八年～

いずれも鎌倉幕府(源頼朝支援)

三浦義明供養堂の創建と造仏

『吾妻鏡』建久五年九月条

源頼朝発願

三浦義明供養堂→満願寺

満願寺出土瓦→永福寺系

満願寺大型礎石建物→翼廊形式堂

満願寺観音菩薩腕釧→永福寺出土金具

満願寺像高→永福寺薬師堂日光・月光と同高



満願寺 観音・地藏菩薩立像



吉田区(旧吉田寺、静岡県松崎町)  
阿弥陀如来坐像 観音・地藏菩薩立像



滿願寺 觀音菩薩  
腕釧(部分)



永福寺跡出土  
仏像金具

# 浄楽寺諸像の諸問題

- ・発願者 → 和田義盛
- ・造立年代 → 文治五年(1189)
- ・造立地 → 「芦名」と「鎌倉」
- ・浄楽寺と勝長寿院・願成就院



浄楽寺・阿弥陀如来坐像





浄楽寺・両脇侍立像(観音・勢至菩薩立像)



浄楽寺・不動三尊像、毘沙門天立像

浄楽寺  
不動明王立像  
像内納入銘札

文治五年三月廿日  
大願主平義盛芳縁小野氏  
大仏師  
興福寺相応院勾当運慶



# ▪ 発願者和田義盛

三浦義明 → 孫

侍所別当 → 実質的当主

芳縁小野氏 → 武蔵七党

和田合戦(建暦三年・1213)

→ 清雲毘沙門天立像



清雲寺・毘沙門天立像(1200年頃、和田義盛発願か)

・造立年代→文治五年(1189)

同年の運慶の造仏供養

願成就院供養→運慶

鶴岡八幡宮五重塔供養→運慶か

この頃運慶の本格的東国下向

→建久年間前半は

鎌倉永福寺造仏

三浦義明供養堂(満願寺)など

に従事

→これら実績が認められ、帰京し  
幕府の支援で京や奈良で活躍

・なぜ「芦名」か

本拠地和田からの距離

富士山浄土信仰

→富士山頂に阿弥陀浄土

彼岸頃に日没時に富士山



秋谷海岸より



# ・浄楽寺と勝長寿院・願成就院

## 「勝長寿院」

鎌倉に源頼朝建立(1185)

仏師成朝(運慶主筋)

## 浄楽寺

→鎌倉勝長寿院の模刻の可能性  
図像的保守的性

## 製作地

願成就院→京都から伊豆へ

浄楽寺→鎌倉から芦名へ